

現況不明者消息(調査件様票)

(昭和五年六月十一日)

吳地方復員課分室理部役員業務課履歷認定B班

申告者

元準級士古石氏名

本籍地(現住所)

準級

氏名

重長(姓)氏名

入籍番号

現況不明者

注本人に

対し信部

承知

事次

現住所

元準級

本籍地

所

参考

事項

所 石田 同 年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

年 月 日

回

本人復員場の

死没の状況

死没の場所

死没の状況

死没の場所

死没の状況

死没の場所

死没の状況

死没の場所

死没の状況

死没の場所

死没の状況

死没の場所

死没の状況

死没の場所

死没の状況

死没の場所

死没の状況

死没の場所

死没の状況

死没の場所

死没の状況

死没の場所

死没の状況

死没の場所

死没の状況

死没の場所

23-6-24夏

答

欄

(註)

<p>(一) 本表は英方下山等町長が復員、現給金、程部、漢、業務課、履歴宛等 返送した下書に (二) 知得事項は推定がし結構等から御大正昭三漢水行記部を付す (三) 消息は確認を以て在り、故人から遺言を得た事項あり、世に在りては推定下書に</p>	<p>合 計</p> <p>本人の消息不明の家 如子と判明するもの 其の入り住居等級 氏名</p>			
	<p>内地上陸地名凡 其、年、月、日</p>			
	<p>復員特許部(待)</p>			
	<p>復員特許部(待)</p>			
	<p>復員特許部(待)</p>			
<p>下記在籍の軍人 軍属の死後者は在 長終の消息不明 在り、其の多人か 有せし〇印を附 せし(少記憶等 係る附記)等も 下書に</p>				
旧海軍省	旧横鎮	旧佐鎮	旧海軍省	
有	有	有	有	
無	無	無	無	

現況不明者消息調査員業務課履歴認定 B 班
兵地方復員課務管理部長復員業務課履歴認定 B 班

申告者

現況不明者

注：本人に

対する高部

承知

事次

現住所

元等級

本籍地（現住所）

所管各旧四三警

同警令

年月日

参考

事項

死没の場合には死没年月日

戦死か病死か病死の場合

死没の場所

死没の状況

左

右

本

人

場

二五七

氏名

等級

大尉

氏名

特技章

入国

年月日

補現

別

昭和七年八月八日

戦死

ソコエノ浦海中 南カマ

戦死に前ける飯成五十米の接近下俣の小銃弾

身殿と云ふに付

迄勤務をいたしましたか

本人が勤務の協会はごん左

方から三八を動かしてあげ

本人はごん左最後

23-6-24

(註)	欄				答	
<p>(一) 本表は兵部下等町長に渡る復員業務處理部復員業務課履歴宛付返送と下さい</p> <p>(二) 知得事項は推定でも結構です。細大なく減水なく記述と下さい</p> <p>(三) 消息は確認となり、本人から得た知得事項があるも必ず記述と下さい</p>	下記在籍の軍人 軍属の死没者を含む 異終り消息を御 存じある者か 有無を○印を付 し(歩記憶なき 氏名附記)を示 下さい	旧海軍省	旧横鎮	旧佐鎮	旧舞鎮	令 存 本人の消息を誰に尋 ねると判明しますか その人への送付等級 氏名
	有	有	有	有	復員特許(部隊)	内地 上陸地名及 其の年月日
	有	有	有	有	復員特許(部隊)	復員特許(部隊)
	有	有	有	有	復員特許(部隊)	復員特許(部隊)
	有	有	有	有	復員特許(部隊)	復員特許(部隊)

0855

戦死者名簿表(土)

所 属 戦死の區別戦死年月日時 戦死場所 戦死時の官位 戦死時の官階 戦死時の官職 戦死時の功 氏

横領 五待陸 戦 正 18年1月2日 東 佐 中將 氏

戦死年月日時 戦死場所 戦死時の官位 戦死時の官階 戦死時の官職 戦死時の功 氏

戦死年月日時 戦死場所 戦死時の官位 戦死時の官階 戦死時の官職 戦死時の功 氏

戦死年月日時 戦死場所 戦死時の官位 戦死時の官階 戦死時の官職 戦死時の功 氏

戦死年月日時 戦死場所 戦死時の官位 戦死時の官階 戦死時の官職 戦死時の功 氏

戦死年月日時 戦死場所 戦死時の官位 戦死時の官階 戦死時の官職 戦死時の功 氏

戦死年月日時 戦死場所 戦死時の官位 戦死時の官階 戦死時の官職 戦死時の功 氏

昭和5年11月10日

2005 103

695

戦死諒状書

海軍軍属
第十一設学隊

生年月日

至 戸籍

右の者 自己の大隊 次米 行 勅也 若以し
た 戦死 せし 神也 諒状 書

昭和十七年五月四日

昭和十七年五月十九日

昭和十七年七月五日

昭和十七年十一月五日

大隊

吳港 出 艦

三ノアノエノ島 上陸

与 陸 攻 米 島 北 端 の

取 行 場 建 設 上 出 動 中 自 動 手

事 故 死 亡

戦友

昭和十七年十月十日

証 明 書

故

明治 年 月 日 生

私は昭和十七年四月十八日皇用令を受領、吳へ行きまゐり、吳で志願
の末、軍艦に編成督になり、広島市能美島で全員集結、十八日
飛行場設備等々の目的でサイパンに向け出航し、途中
都合により、トランク島に引返り、全島に到着したのは、文月七日頃
であつたと記憶します。

志願者
候補

私が前記 [] と懇意となつたのは、船中で班を導く
全、南河内出身の關係上、特に支際も深く、おたがひに留居宅
まで頼み合ふ間柄となりまゐりた。

文月中旬より、ニューアイランド島カビエン港へ上陸し、十二月初めまでは

一定

第一機行場の建設を終了した

引続き全自由機モアの第二機行場を修理することになり、それを終了して、昭和十八年一月末頃カビエンに候る途中、爆撃を避けるため消燈進行中のトラックが谷底に墜落し、同乗していた

は右股、右肩、右腕に大怪我をして十二日設営隊付戦病院に入院した。三三日してそのきずが原因で死亡した事を、当営の衛生兵から聞きまいた

以上の死亡に關し私の知つていた事実を証明します

昭和二十八年六月八日

宮崎 37

整理番號 下 154 不

元海軍軍人現況不明者調書

所轄(辭令年月日) 佐 國 (昭和 年 月 日)	等 級	氏 名	生 年 月 日	入 籍 番 號	本 籍 地
	上 機 曹	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
留 守 携 帯 者	続 柄	氏 名	現 住 所	村 町 大字	[REDACTED]
既 知 事 項	一、佐世保人事 業務課資料 二、世訪調(科) 資料 三、家族(身寄) 承知事項 一、() 遺骨有無 () () 遺留品有無 () 昭和八年 四月中旬 横須賀支隊付 神丸より通信				
情 報 供 報 者	内地歸還年月日	部 隊 等 級	氏 名	入 籍 番 號	現 住 所
昭和 年 月 日	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]	[REDACTED]
所屬部隊に關するもの (これ以上に詳細は正 確な情報があるときは 別紙に記載のこと)		現況不明者個人に關するもの 自昭和 年 月 日 昭和 年 月 日			
一、和成の時期及び場所(昭和 年 月 日) 二、内地出發の時期及び場所(昭和 年 月 日)		一、本人とは何處で何時迄一 緒にいたか 二、その時の本 居りか			
三、擧出要領		取次(行方不明)の場所横須賀支隊 取次(行方不明)年月日 昭和 年 月 日 取次(行方不明)の原因 横須賀支隊 沈没 取次(行方不明)の場所 横須賀支隊 取次(行方不明)の時期 昭和 年 月 日 取次(行方不明)の氏名 [REDACTED]			

(別紙)

情報提供者氏名

昭和十一年

記事

消息不明者

回答

様

第三号初九

遊理員

本籍地

昭和十一年
三月二十一日
六月九日
に到着し當業に
安置されてゐる

小生乗船は昭和十一年三月十六日

小生乗船以前は

昭和十一年頃ト南テ居リカ

昭和十一年九月十日早朝

三六ウレ港ヲ出帆後

年前十時頃海上ニ

於テ

ヨリ機銃探射ヲ受ケテ

時本船廿四ノ室内ニ

伏シテ居ル本人ニ一

機銃探射ヲ受ケテ

手交し

四三二七五

佐世保地方復員局

32840

九龍新界
21.3.-1
在
WUJY

經由
九龍新界
21.3.-3
WUJY

死後遺囑調查書

本籍地	右岡							
現住所	右岡							
村屬	第六特別陸軍隊							
入團年月日	昭和六年六月一日							
階級	少尉							
內地臺灣出發年月日	昭和十七年十二月二十日							
戰地別着年月日	昭和十七年十一月二十二日(在內川(幕))							
勤勞概要	野戰高射砲隊砲員							
不致之病(遺傳年月日)								
一病名(發病別名)								
發病(遺傳)状況								
死後遺囑								

3-7

103

延平府日新制校場

延平府十八年十月日續一冊

加中書

延平府十八年三月

本籍地

理地所

右同

延平府

延平府十八年十月

延平府

延平府

延平府

[Redacted]

延平府

延平府

延平府

[Redacted]

延平府

154

長崎縣 櫻田

卒籍地	[Redacted]	[Redacted]
現住所	石・田	[Redacted]
所属部隊	横須賀鎮守府第2特別陸隊福山隊	
入團年月日	昭和六年一月十日	[Redacted]
等級	水兵長	[Redacted]
補任年月日	昭和六年六月十五日	[Redacted]
補任理由	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

死没者 補

北渡場所
バゲルビニ島第... 北端障地...

明治七年 月 日
昭和八年 月 日

飛七時の状況
敵艦... 未詳... 之際... 艦隊...

右の通り承知しておますから申告致しませう

昭和八年 月 日

申告書
署名
氏名

報告者

所在地
石二洞

海軍省
海軍省... 海軍省... 海軍省...

備考
昭和八年 月 日 発表

岸線書は老眼者の身上度係一却... 理... 承... 承... 承...
に且つ詳細に記入して下さう

此人から聞き取れた事柄其の地... 承... 承... 承...
皆大分餘白に記入して下さう

48386

R

死没者調書

本籍地	現住地	所屬部隊	入團年月	官等	内地港河出死年月日	戦地到着年月日	勤務概要	死没原因年月日	死没場所	死没時刻
		第八十三空軍備隊	大正十二年	水兵	昭和十六年十一月三十日	昭和十六年十一月三十日

右申告人

昭和 年 月 日

申請		現任		所屬部隊		所屬	
氏名	右	氏名	右	階級	右	部隊名	右
籍貫	右	籍貫	右	入籍番	右	兵種	右

備考

- (一) 本調書ハ部隊長又ハ残務取扱者等ニ於テ吳地方後員局人事部長宛通報ニルハスト認ルルモノニ付記載ス。
- (二) 吳鎮在籍、特務士官准士官、下士官、兵ニ付記載ス。
- (三) 同府縣令勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス。
- (四) 知得シル範圍ニ於テ出来得ル限リ詳細ニ記載ス。
- (五) 他人ヨリ聞キテ承知シタル事項ハ各當該欄ニ拘テ方ニ記載ス。
- (六) 送付先

吳市下

吳地方後員局人事部長宛

196

昭和十一年十一月三日 宣統皇帝陛下御遺骸約十五名にて返す所ありしに

少中。川口より約三軒上流の山道端に埋蔵す。陸軍部派員

早稲田少佐、及、一、基橋、三、依、製、故、海、軍、部、長、官、、

と、此、一、裏、に、我、死、年、日、日、記、入、我、遺、に、より、又、尋、り、は、せ、不、可、、

遺、官、長、軍、長、一、名、(天、三、四、十、物)、風、子、敷、包、一、個、埋、入、八、七、年、崩、全

崩、り、、、、、、

遺、骸、、、、、、

殘、留、隊、指、揮、官、宛、遺、骨、、、、、、

一、名、と、思、ふ、同、送、、、、、、

返、之、者、、、、、、

昭和十一年十一月三日
現、在、取、扱、者、、、、、、

、、、、、

同、上、地、方、也、部、長、殿

陸海邦 死亡現認証書

資料提供者		死者																									
死を亡知した方		遺留品の処理		遺骨及び遺骸の処理		元(死亡事由(傷病名))		諸(死亡場所)		亡(死亡日時)		死(死亡区分)		発病場所		発病時期		区分		本籍地		開戦時の住所(在留地)		所屬(所轄)部隊又は職名		通有	
開いた						敵機		ソモン群島ブーゲンビル島近海		昭和十八年十一月十九日		戦死						内		[Redacted]		佐一団		佐一団		細部	
死を亡知した方						*		*		*		*		*		*		容		[Redacted]		[Redacted]		※ブーゲンビル島		[Redacted]	
所住現		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
所属部隊		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
姓名		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
階級		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
死亡当時の状況及び参考資料		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
留守担当者		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
死亡時		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
名氏		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
年		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
月		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
日生		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
女		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	
男		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]		[Redacted]	

上の注意を記して下さい。(※及び裏面の各欄は記載に及びません)

佐

佐賀縣

戦病死

食糧事情切迫ノ爲患者ノ果敢取ルズ大部分ノ人健康恢復セズ

戦七
戦死者 6879

本籍地

[Redacted]

現住所

右 同

所属部隊

八十七警備隊

入隊年月日

昭和六年十二月一日

召集

水兵科

年級

二等兵曹

入隊年月日

昭和十七年九月二日

佐世保

勤務概要

全年九月五日 ソロモニ地区ブリン

勤務概要

ソロモニ地区警備

勤務概要

昭和十八年十二月

勤務概要

悪性マラリヤ

勤務概要

食糧事情切迫ノ爲患者ノ果敢取ルズ大部分ノ人健康恢復セズ

勤務概要

食糧事情切迫ノ爲患者ノ果敢取ルズ大部分ノ人健康恢復セズ

2022

152

昭和十九年二月四日
九十九年二月四日

戦死者

状況非常悪化、各糧高悪、藥品不足シテ、一死傷ニ付テハ、所存自護

九十九年二月四日

海軍二等兵曹

海軍二等兵曹

佐藤保平

合同

海軍二等兵曹

佐藤保平

特別用兵隊

特別用兵隊 佐藤保平

遺留品は隊長直接派人に平度す、然し隊長は所
氏名は利用せず申出者平度す、
遺留品は隊長直接派人に平度す、然し隊長は所
氏名は利用せず申出者平度す、

死 災 者 同 書

本 籍 地 域

現 任 所 今 右

所 屬 區 隊

身三補免印号一、
昭和十八年七月十五日 役留 補免天候 兵隊

入 國 年 月 日

昭和十八年七月十五日

官 等 級

一等兵

氏 名
[Redacted]

入 籍 番 號
[Redacted]

丙 種 港 灣 出 發 年 月 日

昭和十八年七月十五日

外 地 到 着 年 月 日

昭和十八年七月十五日

御 務 の 概 要

四十号家内、主死、
昭和十八年七月十五日

發 病 (受 傷) 年 月 日

昭和十八年七月十五日

病 名 (受 傷 部 位)

左 腹 貫 通

發 病 (受 傷) 又 ()

戰 死 時 の 狀 況

昭和十八年七月十五日

死亡年月日時刻及場所

昭和九年九月廿一日 東京市豊島区西目黒

右 申 付 氏 名

昭和 年 月 日

氏名	所屬部隊	現住所	本籍地
[Redacted]	海軍三等兵中	[Redacted]	[Redacted]
入隊番號	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]

備考

〔本調書ハ行政長又ハ業務取扱者等ニ於テ吳地方復興局人事部長宛通報シ非ズト認

ムルモノノミニ付記載ス

〔吳鎮在籍ノ特務士官・准士官・下士官・兵ニ付記載ス

〔同府縣人ハ勿論他府縣出身者ニ就テモ記載ス

〔同知得シアル範圍ニ於テ出來ル限リ詳細ニ記載ス

〔他人ヨリ聞キテ承知シタル事項ハ各當該司ニ相手方ヲ記載ス

〔内送付 券

吳市

吳地方復興局人事部長宛

45387

54-10

死		者		申		借	
本籍	現住所	所属部隊	等級	死亡年月日	死亡状況	本籍	現住所
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted] 部隊	二等	昭和十九年二月二日	食糧輸送中戦死	[Redacted]	[Redacted]
氏名	氏名	死亡場所	死亡原因				
[Redacted]	長	シマノウチノ島	シマノウチノ島				
[Redacted]		[Redacted]		戦死者家計 実、困り、母、母 妻は目が悪く任 事は出来ず、長男 十才、三才、四才、長女 四年生、三才、二才 右四六四九 片頬の疵、一才			

死後首護書

証
書

0270

26866

36866

昭和二十一年七月八日

皇地志ノ事部

戦没者ニ昇ルル件 田収

皇ノ子五男ノ一四一五ノ家ノ為題ノ件 左記ノ
通田収ノ簿ニ據テ皇地志ノ事部ニ於テ皇地志ノ事部
ノ簿ニ於テ

皇地志ノ事部ニ於テ皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ
皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ
皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ

皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ
皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ
皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ

皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ
皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ
皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ

皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ
皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ
皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ

皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ
皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ
皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ

皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ
皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ
皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ

昭和二十一年三月二十日
東部ノ事部ノ簿ニ於テ
皇地志ノ事部ノ簿ニ於テ

承ヨリ忠告部へ提出(不肖) 承へ通知(善也)

ノモノニ拘束ナシ

六、戦後通和成トナリケル推定理由

昭和十八年四月下旬日人十五名強姦被害五名ハ銃

木刺合ニ随テ行ケルハ残存被害者ノ夕ノ内地ニ敗

退セシメ其ノ際知理ヲナクアリシモノト思科ス

七、其ノ他

本年三月 不肖ニ有ケル人々自心故

不肖ニ對スル懸人傷子ナシテ洋網ニ且テ

戦後特ノ状況ヲ通知セリ

(終)

一死 級 共 詞 旨

本籍地

現住所

所屬部隊

入隊年月

等級

所屬港務

所在地

勤務概要

年齢

病歴

特記事項

高知縣

[Redacted]

日丙、須加員、被、係、屬、為、付、可、リ、一、〇、五、八、七、級、編、隊、
現役兵、
[Redacted]

上等曹、
[Redacted]

平、常、中、心、に、居、る、者、に、
勤、務、一、週、中、の、位、の、休、息、
死、す、る、の、二、週、内、休、み、を、心、考、す、

三、〇、〇、マ、チ、リ、ヤ、
全、船、八、分、程、不、足、し、り、
死、す、る、者、一、〇、七、九、八、

死、す、る、者、一、〇、七、九、八、

昭和拾八年十月七日 他部保出巻

第三海上輸送隊 第九代九乘組員

鹿兒島市本野船

右者 死亡現認書

現認者

元九代九乘組員 (警武兵) (機曹)

本籍

現住所

一 戦死年月日 昭和拾九年四月二十二日

二 場所 ニラギニア シムラノ 第一〇八八 健設部醫務室

三 拾九年四月二十一日 朝六時頃、シムラノ東方約三軒ニ於テ

假泊中ノ第一九代九ニ米國機ガツマニ四機ノ集

襲ニ依リ機銃射撃ヲ受テ第一九代九ハ沈没シ

全員泳テテ陸ニ上ラズトスル時故

下腹部ニミエ味機銃弾の首首ニ假死ノ状態ニ落入り

上陸後直ニシムラノ海軍隊員ノ健設部醫務室ニテシムラノ

ニ付レシセルニシムラノ海軍隊員ノ健設部醫務室ニテシムラノ

シムラノ醫務室ニテ死セリ

福岡

監理番 登 109 册

元海軍軍人現況不明者調書

所轄(詳令年月日) 昭 和 五 年 一 月 一 日	等 級	氏 名	生 年 月 日	入 籍 番 號	本 籍 地
	上 校 曹	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	縣 市 郡 村 町
留 守 擔 當 者	親 柄	氏 名	現 住 所	村 町 大 字	
既 知 事 項	一、佐世保人形業務課資料 二、世階課(科)資料 三、家族(身寄)承知事項				
情報提供 内地歸還年月日 昭 和 一 年 一 月 一 日	部 隊 等 級	氏 名	入 籍 番 號	現 住 所	
所屬部隊に關するもの これ以上詳細且つ正確な情報があるときは別紙に記載すること	一 〇	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	
一、編成の時期及び場所(昭 和 一 年 一 月 一 日) 二、内地出發の時期及び場所(昭 和 一 年 一 月 一 日) 三、進出要領	現況不明者個人に關するもの 昭 和 一 年 一 月 一 日				
	是非承知した事項 戰歿(行方不明)の場所 戰歿(行方不明)の年月日 戰歿(行方不明)の原因 戰歿(行方不明)時編入 されていた戦斗部隊名				

昭和五年一月一日
公議が終つたから認定
申す之

3
118-10

終 結 處 分	二 段 調 査 以 後 に お い て 報 告 の 入 手 し て い る 情 報	船 隻 に お き の 事 故		現 在 地 に お き の 事 故 の 現 況	
		一、艦船名 二、行動の概要	三、行動の概要 (イ) 出港地及び年月日 (ロ) 寄港地及び年月日	四、便乗者の所轄、軍人、軍属別員数 五、事故の原因及びその年月日 (空襲、潜水艦、砲撃)	六、終戦時の状況 七、終戦後の状況 八、歸還の状況
(公)	佐世保人事業調査課にて判定	(イ) 所在 地	(イ) 出港地及び年月日	(イ) 終戦時の状況	(イ) 現地調査結果及び理由
(明)	昭和十九年九月五日	(ロ) 寄港地及び年月日	(ロ) 寄港地及び年月日	(ロ) 終戦後の状況	(ロ) 交戦(被害)の状況
(不)		(ハ) 終戦時の状況	(ハ) 終戦後の状況	(ハ) 歸還の状況	(ハ) 現地調査結果及び理由
(生)	世帯調査(終)にて判定	(ニ) 行先			
復 査 員					

本人の 状況	戦死者 の状況	戦死者 の遺体	戦死者 の遺物	戦死者 の遺品
昭 和 十 九 年 四 月 三 日	昭 和 十 九 年 四 月 三 日	昭 和 十 九 年 四 月 三 日	昭 和 十 九 年 四 月 三 日	昭 和 十 九 年 四 月 三 日
昭 和 十 九 年 四 月 三 日	昭 和 十 九 年 四 月 三 日	昭 和 十 九 年 四 月 三 日	昭 和 十 九 年 四 月 三 日	昭 和 十 九 年 四 月 三 日
昭 和 十 九 年 四 月 三 日	昭 和 十 九 年 四 月 三 日	昭 和 十 九 年 四 月 三 日	昭 和 十 九 年 四 月 三 日	昭 和 十 九 年 四 月 三 日

館-895

級

[Redacted]

級

証明書

昭和九年五月十日

南方エラブルデン島ラパウルにて

マラリヤ病にて致死

せられたる事を証明せし事

昭和九年九月十日

第二三設営隊

[Redacted]

部隊

第二中隊第一小隊

当時中隊長

[Redacted]

上
符

5-10

死没者調書			
本籍地	[Redacted]		
現住所	[Redacted]		
所属部隊	第八海軍中隊		
入團年月	[Redacted]	役種	[Redacted]
等級	二等勲士	年令	[Redacted]
内地港灣出發年月日	[Redacted]	全	種優待
外地到着年月日	[Redacted]	全	種優待
勤務概要	[Redacted]		
病名又は受傷年月日	昭和九年五月六日		
病名又は受傷部位	左側眼		
備考	[Redacted]		

死亡年月日	昭和九年五月六日	死亡場所	第八海軍中隊	死亡原因	眼傷
死亡時の状況	[Redacted]				
右の通り承知した	昭和二十二年 月 日				
申告	本籍地	等級	海軍中隊	氏名	[Redacted]
治	現住所	[Redacted]			
の	所属部隊	第八海軍中隊			

備考

- 一 本調書は死没者の身上関係一切を處理するものなるから慎重に且つ詳細に記入して下さい
- 二 他人から聞いた承知した事項は其の首末尾余白に記入して下さい

66270

證明書

本籍地

大正 年 月 日生

(元海軍上等水兵)

一右者昭和十九年五月十四日頃二二一三了附近

海上航行中敵機兩機下交戦左肩腹

部左大腿部貫通銃創ヲ蒙リ二日後

了ホシ第二十警備隊病舎ニ收容シ

療中トシ一週前後昭和十九年五月

二十日戰死候事

同警備隊村衛生兵トシニ將亦同村同

時應召ノ詔ヲ以テ同右且取後迄一降
ノ看取リヲナセルコト
右相違無之契而茲實證候也

以上

(元マシホ少第三千盛尾隊二等衛生兵會)

440-10

58498

本籍地 [Redacted] (死亡之特)

現任所 名 同シ

所属部 隊 第三十四通信隊

入隊年月 昭和十五年五月二十一日 以地 志願兵 其 務 肉 兵

官階 兵 職 務 衛生員 氏 名 [Redacted] 社 団 ナシ 人 籍 地 [Redacted] 社 団 ナシ

内出陣理由 終年月日 帰隊港 一月五日、至港一月十日、社 団 ナシ、高 尺、寸、寸、色

既出陣年月日 二月十八日、着 船 和 十八年二月十日

如 務 ノ 花 姓 妻ノ方、上 置、以 後、三ノヤ、マ、カ、イ、マ、丁、勤、出、エ、キ、ト、ヤ、エ、キ、ノ、キ、ロ、ワ、一、勤、出、

終期 (受信) 年月日 昭和十九年三月十五日 空 腹、コ、ロ、リ、最、終、

終 名 (受信) 部 隊

終 名 (受信) 部 隊 終 名 (受信) 部 隊 終 名 (受信) 部 隊

石印

昭和二十一年三月三十一日

本籍地

現任所

所属部隊

氏名

右同じ

第三師團信隊

自守隊 海軍上等技術兵曹

人

一、本師團は、陸軍省の命令により、昭和二十一年三月三十一日現在、右の如き人員を擁する。

二、本師團は、陸軍省の命令により、昭和二十一年三月三十一日現在、右の如き人員を擁する。

三、本師團は、陸軍省の命令により、昭和二十一年三月三十一日現在、右の如き人員を擁する。

四、本師團は、陸軍省の命令により、昭和二十一年三月三十一日現在、右の如き人員を擁する。

五、本師團は、陸軍省の命令により、昭和二十一年三月三十一日現在、右の如き人員を擁する。

六、本師團は、陸軍省の命令により、昭和二十一年三月三十一日現在、右の如き人員を擁する。

七、本師團は、陸軍省の命令により、昭和二十一年三月三十一日現在、右の如き人員を擁する。

八、本師團は、陸軍省の命令により、昭和二十一年三月三十一日現在、右の如き人員を擁する。

九、本師團は、陸軍省の命令により、昭和二十一年三月三十一日現在、右の如き人員を擁する。

十、本師團は、陸軍省の命令により、昭和二十一年三月三十一日現在、右の如き人員を擁する。

58484

本館

責任所

所出部

入用年月

官等級

内歩港出全年月日

版出到最年月日

勤務ノ在

整頓ノ受入ノ年月日

勤務ノ受入ノ年月日

勤務ノ受入ノ年月日

係 級 者 調 査 員

右同公

第八十三警備隊ハ多記号

昭和三十八年一月十日 役種 現役 兵種 水兵

一書

昭和七年拾月廿日横須賀

カキタタテ 拾二月八日 ラバウル

奥才不務別隊新隊附トシ
才八十五警備隊隊員 附トシ
昭和七年拾月廿日
昭和七年拾月廿日
昭和七年拾月廿日

不明

不明のラリヤ



2041

各 申 告

本館... 八十三... 備... 申... 告... 入

戸 名	住 所	備 考
[Redacted]	石岡	[Redacted]
[Redacted]	八十三	[Redacted]
[Redacted]	備	[Redacted]
[Redacted]	申	[Redacted]
[Redacted]	告	[Redacted]
[Redacted]	入	[Redacted]

一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

至急

死没者調書

4554

軍部
軍級
上

氏名

第1支隊

後種現

兵種

生年月日

昭和十八年六月七日横須賀

勤務概要

勤務概要 大分精勵 常ニ先頭隊ヲ行キ責任重
念重極ク多ク愛シテノ所ニ有ル人物トシテ長
ノ有リテ其ノ死ニ至ルモノトシテ人々ノ
哀シムル所ナリ

死没年月日

昭和十九年六月四日

死没場所

新島東部 陸軍 陸軍 陸軍 陸軍 陸軍 陸軍

死没原因

死没原因 戦死 戦死 戦死 戦死 戦死 戦死

備考

備考 備考 備考 備考 備考 備考

右中若

昭和二十一年十月一日

甲	本籍地	右	官等級	海軍中尉
乙	現住所	右	入籍番號	
丙	所屬部隊	第一空軍備隊		
丁	氏名	[Redacted]		

備考

(一) 本調書部隊長又、殘務取扱者等、於吳地方復員局人

事部長宛通報非、認、付記載、

(二) 吳鎮在籍者、持務主任、准、下出官兵、付記載、

(三) 同村縣人、勿論他村縣出身者、就、記載、

(四) 知得、範圍、於、出、得、限、詳細記載、

(五) 他人、用、承、知、事、項、各、當、該、欄、相、手、方、記載、

(六) 送付先

吳地方復員局、事務、部、長、宛、

東面、見、下、

死の場所 ソロモン群島ブーゲンビル島ブリン

死の年月日 昭和十九年八月頃

死の時刻 雑食大蛇の死に因りて生かされず。戦時中に従軍し、草鞋の他に動物を食す。...

上の通 承知してありすから

昭和十九年七月十日

軍人 藤原 正三 曹 長

生誕地 全

所属部隊 佐世保鎮守府第六特別陸戦隊

備考

一 不調書は死後者の身上関係一切を処理す。その不調書は命令から
二 遺書は上詳細に記入して下さる。
三 他人の口から聞いて承知した事項、其の他参考となるべき資料は、その旨、仔細に書記入下さい。

7/26 昭和十九年八月十日

海軍軍人消息調査票



全地人第一六號一二一九

六月六日送付

海軍軍人消息調査票 第二十四號 全澤地海復員人事部

資料	所轄	海軍軍人消息調査票	第二十四號	全澤地海復員人事部
	提供者	二十六特報 五三三船防隊	ルマヘラ島二六六二	二曹
戦歿	等級	氏名	出身地	戦歿年月日
	水長	[Redacted]	[Redacted]	一九八九
確歿	上曹	[Redacted]	[Redacted]	「ルマヘラ」にて被爆致死
	二曹	[Redacted]	[Redacted]	不明
十者	上水	[Redacted]	[Redacted]	「ルマヘラ」にて被爆致死
	上曹	[Redacted]	[Redacted]	「マラリヤ」島 戦病死
備考	水長	[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]
	備考	一三九警(向二十六特報)司令 [Redacted] 中佐、五三三船防隊隊長 [Redacted] 将大尉 [Redacted] 毛 同時帰還した。		

寫送付先

福井一海方復員人事部

(終)

紙用箋附

細判 [Redacted] 昭和

女發第一。號

昭和十一年三月二十日

滋賀縣甲賀郡甲南町長

舞鶴地方復員局人事部長 殿

戰死者、件

照會

本町出身、左記、者戰死、旨復員、旨戰友、承知、以テ
事實照會、遺族、申出有之候間、御調査、上、何令、御回
答相成度、及、御依頼候也

記

本議

一 昭和十七年五月一日海軍志願女トシ舞鶴海女團入團

一 昭和六年二月二十日吳第七特別陸戰隊、編成、昭和十八年四月一日
ソロモン群島方面ニ出動、ブーゲンビル島、ブイ、及、バララベラ島ニ上陸

戰國、參加後子ヨイセ鳥、上陸勳勞中罷者 昭和十九年
八月二十日用鳥、於、戰者死、

一現居者

在島
西ノアリア
花野守子

CHINA

140-10

戦死当持の實情

昭和十八年五月廿日、兵隊第〇八設営隊

隊員 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇 〇〇〇〇

ラハウルに務むる

昭和十九年八月廿九日、壕掘り作業中、オーストリア

空軍機三機来襲、爆弾を受け、直撃を蒙り

作業中の壕内に生埋せられた。救出後に持向

て死す。

事情を用いた復讐者の任前氏名

[Redacted]

受産

近衛軍々属死因調査資料

(異地方種員)

死没考(年齢、所屬、身分、氏名及び生年月日)

当部で承知している死没の物(生年月日並びに死因となつた病名)

所屬又は死没年月日及び場所

受傷部位又は病名

誰の命令、指揮、監督によつてどんな作業をしてゐたか

死の如し

受傷時の状況(事故の原因、本人の過失、この原因を認めるか、認めるに説明して下さるか)

二十六歳(兵)五五五

昭和十九年三月、東京近郊諸島方面に於て敵砲死(病名等詳細不明、死に場所は不明にして認むべし)

昭和十九年三月、船中にて敵砲死(病名等詳細不明、死に場所は不明にして認むべし)

砲撃隊、三原隊、破片ヲ受ケル

百三十三歳、海軍中尉、カイマ、機、行、機、運、設、作、業、中

昭和十九年三月、東京近郊諸島方面に於て敵砲死(病名等詳細不明、死に場所は不明にして認むべし)

死	の	証	明	証
<p>全死の証明を受けるに 必要とする状態に於て は、死の証明を受けるに 必要とする状態に於て は、死の証明を受けるに 必要とする状態に於て</p>	<p>死の証明を受けるに 必要とする状態に於て は、死の証明を受けるに 必要とする状態に於て</p>	<p>死の証明を受けるに 必要とする状態に於て は、死の証明を受けるに 必要とする状態に於て</p>	<p>死の証明を受けるに 必要とする状態に於て は、死の証明を受けるに 必要とする状態に於て</p>	<p>死の証明を受けるに 必要とする状態に於て は、死の証明を受けるに 必要とする状態に於て</p>
<p>死の証明を受けるに 必要とする状態に於て は、死の証明を受けるに 必要とする状態に於て</p>	<p>死の証明を受けるに 必要とする状態に於て は、死の証明を受けるに 必要とする状態に於て</p>	<p>死の証明を受けるに 必要とする状態に於て は、死の証明を受けるに 必要とする状態に於て</p>	<p>死の証明を受けるに 必要とする状態に於て は、死の証明を受けるに 必要とする状態に於て</p>	<p>死の証明を受けるに 必要とする状態に於て は、死の証明を受けるに 必要とする状態に於て</p>

右の通りです。
昭和三十年三月五日

氏名
氏名

[Redacted signature area]

52-45

6047

死歿者調書

(行方不明者)

及正當時狀況	行方不明上六、年月日	勤務概要	戰地到着年月日	内地派遣出陣年月日	官等級及兵長		入團月日	所屬部隊	現任所	本籍地
					氏名	役種				
		温室、正廣十人物	昭和十七年八月初旬	昭和十七年七月	生年月日	昭和二年	昭和二年	通信學校卒業後、本土陸軍隊員、司令部、	右自	
					心報所又	入籍番号	六禮	昭和九年八月八日、		

昭和十七年八月八日、温室、正廣十人物、

發病(受傷)年月日

病名(受傷部位)

發病(受傷)原因

死因(有無)及場所

右申一告久

昭和三年四月八日

本籍地

歸郷地

所屬部隊

氏名

本籍地

歸郷地

所屬部隊

氏名

本籍地

歸郷地

所屬部隊

氏名

昭和三年四月八日

三日熱ヲ示シテ

本人ニ患アリ

九月二十日

水ヲ腹中ニ

此等ノ病

死

入

官等級

上等兵

憲兵

入籍

官等級

一等兵

憲兵

入籍

官等級

一等兵

憲兵

46-10

要 目 録

本 録
第 二 回

元 治 四 年 十 月 二 十 四 日

一、死亡年月日時 昭和十九年十月二十四日

一、死亡場所 ブーゲンビル島ブカ地五第八七警備隊

一、死亡原因 戦病死

一、死亡状況 促 在警備隊に入隊勤務中マラヤ半島に在る中

遺 葬 地 不 詳

昭和廿一年十二月三日

現 任 者 元 見 最 丸 松 長

元 治 四 年 十 月 二 十 四 日

19-120 17

海軍軍人軍屬消息調査 (記者官職決定)

項目	氏名	官職	住所	備考
知得七九海軍 軍人軍屬 消息	水	水	舞鶴	昭和七年四月十日戦死
戦没者行方 (不明)				

清 1132

死 歿 者 調 査 書

本籍地	現住所	所属部隊	入国年月日	等 級	内 地 派 遣 基 準	外 地 派 遣 基 準	死 亡 年 月 日	死 亡 時 間	死 亡 場 所	死 亡 原 因	死 亡 診 断	死 亡 診 断 書
	合	佐 官 補 [] 隊 [] 隊 [] 隊		二 機 曹	三、一、初日号等	右 署 員 一 月 内 派 遣 多 数	一九二〇、一〇、二九			マダリヤ病及強烈な下痢	マダリヤ病	マダリヤ病
	右				海 軍 派 遣 基 準	正 八 本 隊 員 補 入 後 三 日 内 派 遣 多 数				マダリヤ病	マダリヤ病	
					海 軍 派 遣 基 準	正 八 本 隊 員 補 入 後 三 日 内 派 遣 多 数				マダリヤ病	マダリヤ病	
					海 軍 派 遣 基 準	正 八 本 隊 員 補 入 後 三 日 内 派 遣 多 数				マダリヤ病	マダリヤ病	

右の通り添紙し給ふ事申す

昭和三十二年六月十一日

申告書の

入籍番號	本籍地	現住所	所属部隊
[Redacted]	[Redacted]	[Redacted]	第五師団 陸軍 隊 隊司令官 [Redacted]
再級一曹	氏名	[Redacted]	[Redacted]

備考

一本調書は死没者の身上関係一切を處理するものである
 慎重に且詳細に記入して下さい
 二 他入りの聞も承知した事項は其の旨末尾の餘りに記
 入して下さい

62-10

長崎縣

勤務概要	病名及受傷部位	病名及受傷部位	内地轉出日	外地到着日	等級	入團年月日	所属部隊	現住所	本籍地
	熱帯病	熱帯病			二等	17.1.10	二六設営隊	左	左
			合上内地	合上内地	兵種				
			到着地名	到着地名	現役				
					兵種				
					水兵				

死者調査書

位
241
定

昭和 年 月 日
 死亡の状況
 19 年 11 月 24 日
 場所 所 在
 フイン
 死亡の届出
 死亡届出
 ()

右の通り承知してありますから申告致しします

昭和 年 月 日

申告者	入籍番号	氏名
本籍地	年齢	
現住所	一曹	
所属部隊		

佐吉係 第 特別陸戦隊 大隊 指揮小隊

4277 昭和十八年二月廿四日

死致者調書

未籍地	現住新	所屬部隊	入回年月	官等級	死地到着年月日	勤務の概要	死因(受傷年月日)	備考
		第八防空隊(後に第八七警備隊)	昭和十八年一月十日	機長	不明	ガ力島に於て勤務	不明	昭和十九年十二月十日 ソドモ島に於て復
				氏名	不明		不明	
				生年月日	不明		不明	
				入籍番號	不明		不明	

昭和二年十一月二十三日

本籍地		官等級	不詳
現任所		入籍番號	不詳
所属部隊			
氏名			

備考

- (一) 本欄書は部隊長又は職務取扱者等其地方後身而入事部長並通報可也
- (二) 在任者に於て知得しあり申し悉むるものみに付記載す
- (三) 兵隊在籍の特務士官准士官下士官兵に付記載す
- (四) 同府縣人は勿論他府縣出身者に就ては記載す
- (五) 知得しある範圍に於て未詳を限り詳細に記載す
- (六) 他人より聞きて承知したる事項は各當該欄に相手方を記載す

本欄書は右復免者

その如きものかう清承知下

言を道後外記のしをる

昭和二十四年二月十三日

本國参事より昭和二十四年二月十三日

佐世深地を復員残務処理部復員業務課

未復員者消息に因する件回答

佐編人第七號の九三を以て即照会の元整正長

年九月十五日附一五空基より一時九五八空に転勤し同隊勤務中

課長濱中士月二十日行方不明とあり同日附戦死と認定されおりました

行方不明等の状況は左記の通ですが此の事は以て時

令隊員元上整正長

の記憶に依るものでありませう私も行方不明等の状況は記憶

ありませうが不明の点がありませう。五空基より五空隊に

と同日転勤し未だ

氏は

24年3月/日

94
102

民の言に依り専らと戦死認定に因する書類等は終戦

直前(日時不詳)各隊長より庶務に渡りしはなかつた云々

申す(おかし)であれは庶務よりは当然整理する筈です

当時(五)は各陣地に分離し陣地間より連絡も意の如く

あらず又終戦直後の混雑に書類紛失しそのおもりを人が私

在隊中は何方不明で未整理にて私は南東方面に陣地を

整理として在隊より先に敗走ししがれは宿願を後には

務整理はたれもやうあつた云々

記

何方不明及戦死認定年月日 昭和十九年五月二十五日午後四時頃

切符 ニブアリテン島ラバウル

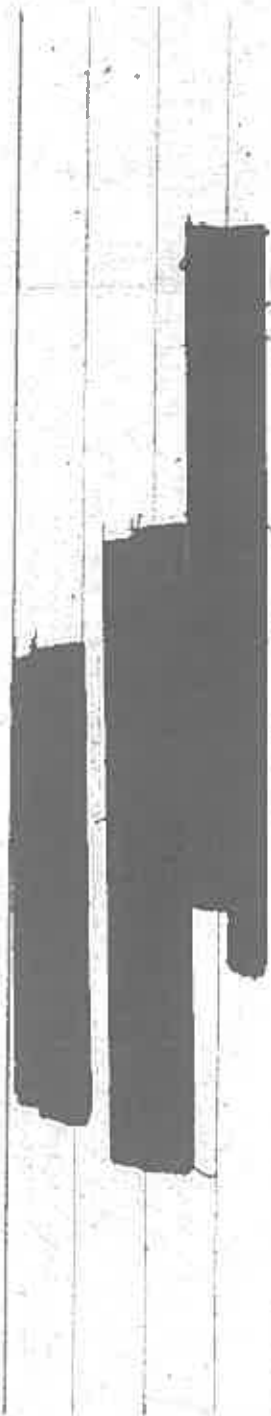
状況 昭和十九年五月二十五日午後一時頃

各隊長元大尉 〇〇〇の命に依り元二〇七 〇〇〇等(計

四名)と共に防盾壕資材取作兼務として陣地を及後田の浦

104-10

No. 34



海岸に於て作業中同日午後四時頃敵機が綿塚を襲め元上
 港を襲ふ外二名は附近の小さな防空壕に隠れし一が元上
 長 [redacted] 及び作業の都合上外の防空壕に隠れし一が元上
 同然に物凄く爆弾の洗礼に見舞われ爆撃終りたるも [redacted]
 は泣きを見せず其の後四日内に一旦捜索隊を以て附近を捜
 索せしが遂に発見するに至らず 当時之状況より推察するに
 直撃弾も度々小さき防空壕あり敵機の爆撃は依り同然
 防空壕にありて壮烈なる戦死を遂げざるものと認定す
 (以上の様事書類を度勢に提言すとの [redacted] 氏之言也)

終

104-11

58482

本籍地

現任所

所属部

入隊年月

實地級

内務省陸軍部

昭和十八年七月十日

昭和十八年七月十日

昭和十九年十月十日

昭和十九年十月十日

昭和十九年十月十日

昭和十九年十月十日

第一根據地隊司令部

昭和十八年七月十日 兵種 水兵

隊長

氏名

[Redacted Name]

生

昭和十九年十月十日

[Redacted Name]

昭和十八年七月十日

昭和十八年八月十日... 昭和十九年十月十日

昭和十九年十月十日

昭和十九年十月十日

昭和十九年十月十日

昭和十九年十月十日

2066

233



